

平安京を体感

「古典の日記念 京都市平安京創生館」は、
復元模型や出土品から平安京を再現します。
よみがえった都を体感し、みやこびとのくらしに
思いを馳せてください。

古典の日記念

京都市平安京創生館

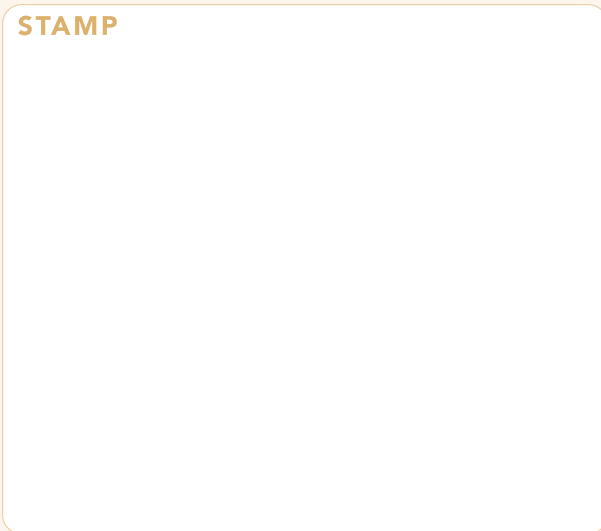


◎ 周辺地図



京都市中京区丸太町通七本松西入 京都アスニー(京都市生涯学習総合センター)1階
TEL.075-812-7222 FAX.075-803-3017 ©HPもご覧ください。

STAMP



平安京図会

平安京復元模型の詳しい解説と、
平安宮及び周辺ゆかりの史跡と
源氏物語ゆかりの遺跡を紹介した
ガイドマップです。

復元模型の巻 3巻1組
史跡散策の巻
源氏物語の巻

※京都アスニーにて好評発売中
その他にもオリジナル出版物を販売しています。詳しくはHPをご覧ください。



平安京復元模型



開館時間	午前10時～午後5時
入館料	無料
休館日	毎火曜日(祝日の場合は翌日) 及び 年末年始

豊楽殿復元模型



① 源氏物語車争図屏風複製(部分)



② 法勝寺復元模型



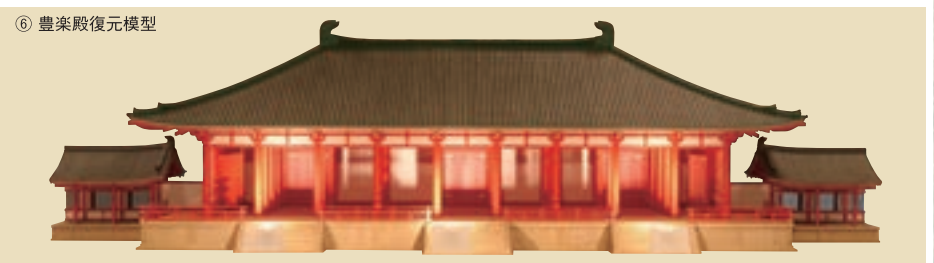
③ 平安京復元模型



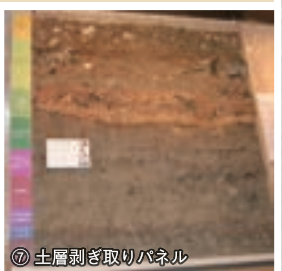
④ 国宝北野天神縁起絵巻(承久本)複製



⑤ 鳥羽離宮復元模型



⑥ 国宝洛中洛外図屏風(上杉本)陶板壁画



⑦ 土層剥ぎ取りパネル

平安京を体感する

平安京復元模型 ①

延暦13年(794)に遷都された平安京は東西4.5km・南北5.2kmの方形の都市でした。この模型は、平安宮とその周辺は平安時代前期、平安京域中心部は平安時代中期、鴨東域は平安時代後期の状態を復元し、平安京400年間をつの平面上にあらわしています。〔縮尺1/10000 7.8m×6.6m〕

鳥羽離宮復元模型 ②

白河天皇(1053~1129)が創建した讓位後の御所です。鳥羽上皇(1103~56)の代にはほぼ完成し、14世紀頃まで代々院御所として使用されました。〔縮尺1/10000 2m×5m〕

豊楽殿復元模型 ③

豊楽殿は豊楽院の中心的建物で、大管会など国家的饗宴のための施設です。規模は発掘調査によって東西46m南北23mであることが確定しました。〔縮尺1/20 3.4m×1.8m〕

豊楽殿鴟尾復元模型 ④

豊楽殿の大棟両端に付けられていた鴟尾の復元模型です。発掘調査のおり、緑釉を施した鳳凰文の鴟尾の顔部分が出土したことが復元につながりました。〔実物大〕



法勝寺復元模型 ⑤

院政期に現左京区岡崎の地に建立された6つの寺院(六勝寺)のうち、白河天皇が承暦元年(1077)に造営した寺院。伽藍の中心にそびえる八角九重塔は高さ約81mです。〔縮尺1/100 3.3m×5.6m〕

源氏物語車争図屏風複製(部分) ⑥

『源氏物語』葵巻を題材にした屏風で、賀茂斎院の御禊の日、見物のため牛車を停める場所をめぐる、従者たちが鬭争におよぶ情景を描いたものです。土佐派の絵師によって描かれた近世初頭の作品の主要な部分を拡大し、複製しました。(京都市歴史資料館蔵)

平安京のくらしと文化

国宝北野天神縁起絵巻(承久本)複製 ⑦

北野天神縁起絵巻(北野天満宮蔵)より、菅原道真が「父と出会う」「船で大宰府へ旅立つ」「配流先で醍醐天皇より賜った御衣を前に詩を詠む」場面と、道真の死後「清涼殿に落雷し、藤原時平が刀を抜いて雷神に立ち向かう」場面の複製を展示しています。

平安京のくらしと文化

平安京に暮らす人々の生活や文化について、瓦や生活道具などの出土品や復元品をもとに解説します。※展示替あり

土の中からみる平安京

土層剥ぎ取りパネル ⑧

京都市立高倉小学校(中京区高倉通六角下)の校庭を発掘調査した際に土層を剥ぎ取りました。現在のグラウンドの砂から、平安時代より以前の遺物を含まない自然に堆積した層までを一望できます。

平安宮造酒司倉庫跡

古典の日記念京都市平安宮創生館は朝廷の諸節会・神事に用いられる酒・酢などを醸造していた造酒司という役所のあった場所にあります。1978年の京都アスニー建設に伴う発掘調査で、醸造用の米などを保管する高床式倉庫と考えられる掘立柱建物跡の柱穴が発見されました。平安京を復元する上で重要な遺跡として京都市の史跡に指定されました。遺構は地中に保存され、柱穴の輪郭の形は建物の入り口前に示しています。



平安宮造酒司倉庫跡出土品

発掘調査の際に出土した、平安時代前期の土師器・須恵器・緑釉陶器などを展示しています。

平安京の建物跡出土品

平安京の都づくりにとって重要な、建物に関する資料を紹介します。なかでも緑釉瓦は、主として政府の施設や有力な貴族の邸の屋根に葺かれました。

平安京以降の京都

室町・桃山時代の出土品

洛中洛外図屏風(上杉本)が描かれた当時の器を展示しています。茶釜や風炉は、屏風に描かれる一服一銭の立売りが使っている道具と同様です。



国宝洛中洛外図屏風(上杉本)陶板壁画 ⑨

狩野永徳が描き、天正2年(1574)織田信長が上杉謙信に贈ったと伝えられる洛中洛外図屏風(上杉博物館蔵)を、陶板で再現しています。〔実物の1.4倍〕

映像コーナー

映像や資料を使って、平安京の歴史や文化をわかりやすく解説するコーナーです。